



『気になる保安官』

ある日、女性の海上保安官が僕に声をかけてきた。絶対に彼女は僕に気がある。後日会う約束までしたのだから。約束の日、彼女は僕の事を詳しく聞いてきた。僕はつつみ隠さず、すべてを話した。

～解説～

あなたは、海上の事件事故に遭遇したのでしょうか？海上保安官があなたに事情を聞いているという物語です。その時は、事案解決のため**協力をお願いします。**

職員はあなたに対する恋心が芽生え、声をかけたのではありませんから、職員へストーカー行為をしないでくださいね。



海の「もしも」は118番